

令和4年度

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・関連する学会における
「男女共同参画」に関するアンケート調査

令和4年11月～令和5年2月実施

令和5年7月発行

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総務部男女共同参画委員会編

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総務部男女共同参画委員会

担当理事 小林 一女

委員長 森田 由香

委員 松延 毅

藤田 岳

丸山 裕美子

目 次

I. 令和4年度日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・関連する学会における「男女共同参画」に関するアンケート調査結果の解説.....	4
II. 調査結果	
1. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会の医師会員数，女性医師比率の推移.....	7
2. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会における役員数と女性比率.....	8
3. 役員選出に関する、クォータ制（割当制）等の女性医師登用へのポジティブアクションの有無.....	9
4. 学会総会・学術集会における女性登用の推移～指定演者.....	10
5. 学会総会・学術集会における女性登用の推移～座長.....	11
6. 学会総会・学術集会における託児所設置の有無.....	12
7. 女性医師支援や男女共同参画推進に関する内部組織やアクションプラン.....	13
8. 学会の Web 開催併用の有無.....	14
III. 依頼文とアンケート内容.....	15

I. 令和4年度日本・関連する学会における「男女共同参画」に関するアンケート調査結果の解説

男女共同参画委員会
担当理事 小林 一女
委員長 森田 由香

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会は、平成26年度より総務部に「男女共同参画委員会」を設置し、男女共同参画へ向けての積極的な取り組みを行っている。男女共同参画委員会では、平成26年、28年、30年、令和2年度に日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会へのアンケート調査を行い、これらにおける女性医師数と、指導的地位への登用の割合、基盤整備の状況を調査している。令和3年度に日本耳鼻咽喉科学会は日本耳鼻咽喉科頭頸部外科となり、令和4年度に5回目のアンケート調査を行った。概略は以下の通りである。

1. 対象・調査方法

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会ならびに関連する15学会、計16学会の事務局へ、令和4年11月から令和5年2月に電子メールにてGoogle Formsでのアンケート調査をおこない、回答を得た。回答率は100%であった。

2. 調査結果と分析

① 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会における会員の女性比率（調査結果II-1）

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会の女性比率は、耳鼻咽喉科頭頸部外科医の女性比率を直接反映するもので、令和4年は24.7%である。16学会における女性学会員の平均比率は、平成26年は17.9%、平成28年は18.7%、平成30年18.8%、令和2年20.0%、令和4年22.1%であり増加傾向を示していた。令和4年度の調査においては、日本の耳鼻咽喉科頭頸部外科医師における女性比率に達していないものの、過去5回の調査のうち過去最高値であることが確認された。

② 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会における役員数と女性比率（調査結果II-2）

今回令和4年度の調査で得られた女性役員比率は平均7.3%であり、平成26年度4.1%、平成28年度4.9%、平成30年度3.8%、令和2年度5.0%と、全体的に徐々に増加傾向にあり今回の調査では過去最高の比率であった。しかしながら女性医師の指導的地位への参画は未だ十分とは言えない状況である。

③ 役員選出における女性登用へのポジティブアクション（調査結果II-3）

16学会中、ポジティブアクション「あり」との回答は平成28年と平成30年は0%、令和2年11.8%であり、今回令和4年の第5回アンケートでは31.3%と増加していた。前述のごとく実際の学会役員に占める女性医師率も微増しているが、令和4年における耳鼻咽喉科頭頸部外科医に

占める女性医師の割合は24.7%であるなかで、学会役員に占める女性医師の割合は平均7.3%と開きがある。「女性理事枠の設置」が5学会でなされ、「候補者に積極的に立候補して頂くよう声かけしている」などのコメントがある一方で「まず女性会員の増加を目指している」「クォータ制や女性医師登用については学会内でさまざまな意見がある」「学会会則に則り選挙によって評議員を決めている」といったコメントも認められた。

④ 学会総会・学術集会の指定演者・座長への女性登用比率（調査結果 II-4, II-5）

学会総会・学術集会におけるシンポジウムやパネルディスカッションなど指定演者における女性登用比率は平均で令和4年度が19.7%であり、平成26年10.0%、平成28年9.5%、平成30年11.6%、令和2年11.4%であり、増減はあるものの全体的に増加傾向にあり、特に今回の調査で過去最高の値を得た。また座長については今回7.2%であり、平成26年6.5%、平成28年5.3%、平成30年6.0%、令和2年7.1%と微増してきている。女性医師の更なる活躍と、これに伴う指定演者や座長への登用の向上が望まれる。

⑤ 学会総会・学術集会における託児所設置（調査結果 II-6）

学会総会・学術集会における託児所設置率は、平成26年41.2%、平成28年64.7%、平成30年76.5%、令和2年82.4%とこれまで増加傾向にあったが令和4年は56.3%と減少した。これは新型コロナウイルス感染症拡大によるウェブ学会併用など学会開催形式の変化など、社会的背景の影響も考慮すべきと考えられる。しかし現地での学会参加のための環境整備について、さらに理解を深められることが望まれる。

⑥ 学会内における女性医師支援や男女共同参画推進に関するアクションプランの有無（調査結果 II-7）

16学会中アクションプラン「あり」との回答は平成26年17.6%、平成28年35.3%、平成30年29.4%、令和2年58.8%であり、令和4年は50.0%と全体的には増加傾向にあるが前回調査に比較し減少しており、「なし」が37.5%、「検討中」が12.5%であった。アクションプランの具体的な内容としては男女共同参画委員会やダイバーシティ推進委員会の設置や、委員会によるアンケート調査や座談会の実施、学術集会における同委員会によるプログラム企画などが挙げられていた。基盤整備は進みつつあるが、さらに実現することが望まれる。

⑦ コロナ禍における学会総会・学術集会でのWeb開催の併用の有無（調査結果 II-8）

16学会中、令和2年では13学会（81.3%）、令和4年では14学会（87.5%）においてWeb開催が併用されていた。現地参加とWeb参加について参加人数を問うたところ、回答が得られた学会においては学会参加者中の女性医師の占める割合は令和2年19.0%、令和3年23.7%、令和4年24.5%であり、特にWeb参加者中の女性医師の占める割合は令和2年24.5%、令和3年24.5%、令和4年27.8%であった。日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会員中の女性医師の比率は令和2年が20.0%、令和4年が24.7%であり、学会のWeb開催が女性医師の学会への参加推進に寄与している可能性が示唆された。

最後に今回のアンケート調査にご協力をいただきました日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会の会長・理事長、事務局の各位に深く感謝申し上げます。この調査は、隔年に行われ、今回で5回目となりました。本データをお役立ていただければ幸いです。次回の調査におきましても、今回同様のご協力をお願い申し上げるとともに、よりよい男女共同参画の実現を目指して、本委員会への具体的な提言をお待ちしております。

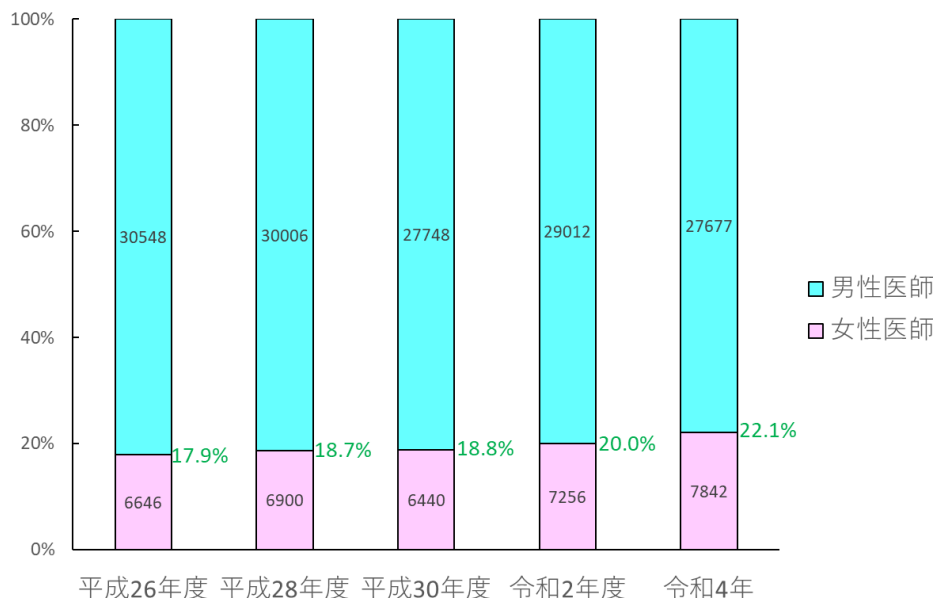
Ⅱ. 調査結果（表内の黄色枠は平均以上を示す）

1. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会の医師会員数、女性医師比率の推移

学会名	平成26年度			平成28年度			平成30年度			令和2年度			令和4年度		
	医師総数	女性医師数	女性比(%)	医師総数	女性医師数	女性比(%)	医師総数	女性医師数	女性比(%)	医師総数	女性医師数	女性比(%)	医師総数	女性医師数	女性比(%)
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 ¹⁾	10,743	2,387	22.2	10,808	2,467	22.8	10,908	2,554	23.4	11,033	2,631	23.8	11,130	2,747	24.7
日本聴覚医学会	1,694	355	21.0	1,622	361	22.3	1,640	371	22.6	1,547	373	24.1	1,490	362	24.3
日本めまい平衡医学会	1,470	90	6.1	1,690	343	20.3	1,750	366	20.9	1,778	374	21.0	1,808	400	22.1
日本耳科学会	2,902	577	19.9	2,840	582	20.5	2,733	567	20.7	2,637	553	21.0	2,517	547	21.7
日本鼻科学会	1,965	333	16.9	1,939	348	17.9	1,933	344	17.8	1,863	340	18.3	1,873	386	20.6
日本気管食道科学会	3,132	347	11.1	3,009	365	12.1	2,807	367	13.1	2,626	348	13.3	2,451	332	13.5
日本頭頸部癌学会	3,207	371	11.6	2,080	218	10.5	2,121	240	11.3	2,003	328	16.4	2,049	549	26.8
日本音声言語医学会	522	106	20.3	532	99	18.6	581	117	20.1	547	110	20.1	553	120	21.7
日本顔面神経学会	466	55	11.8	494	56	11.3	472	50	10.6	425	47	11.1	451	48	10.6
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 ²⁾	623	119	19.1	604	108	17.9	634	119	18.8	1,094	198	18.1	1,122	210	18.7
日本小児耳鼻咽喉科科学会	1,135	305	26.9	1,138	299	26.3				664	191	28.8	737	198	26.9
耳鼻咽喉科臨床学会	3,534	800	22.6	4,377	838	19.1	4,355	818	18.8	4,212	827	19.6	4,200	900	21.4
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	732	94	12.8	759	113	14.9	764	108	14.1	739	120	16.2			
日本口腔・咽頭科学会	1,357	229	16.9	1,350	237	17.6	1,288	237	18.4	1,182	208	17.6	1,076	202	18.8
日本喉頭科学会	955	103	10.8	974	103	10.6	1,029	123	12.0	959	127	13.2	963	141	14.6
日本頭頸部外科学会	1,801	227	12.6	1,825	236	12.9	1,914	262	13.7	2,034	317	15.6	2,152	346	16.1
日本嚥下医学会	956	148	15.5	865	127	14.7	899	168	18.7	925	164	17.7	947	354	37.4
合計	37,194	6,646	17.9	36,906	6,900	18.7	34,188	6,440	18.8	36,268	7,256	20.0	35,519	7,842	22.1

1) 令和2年まで日本耳鼻咽喉科科学会、令和3年から日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

2) 令和1年まで日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会、令和2年から日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会

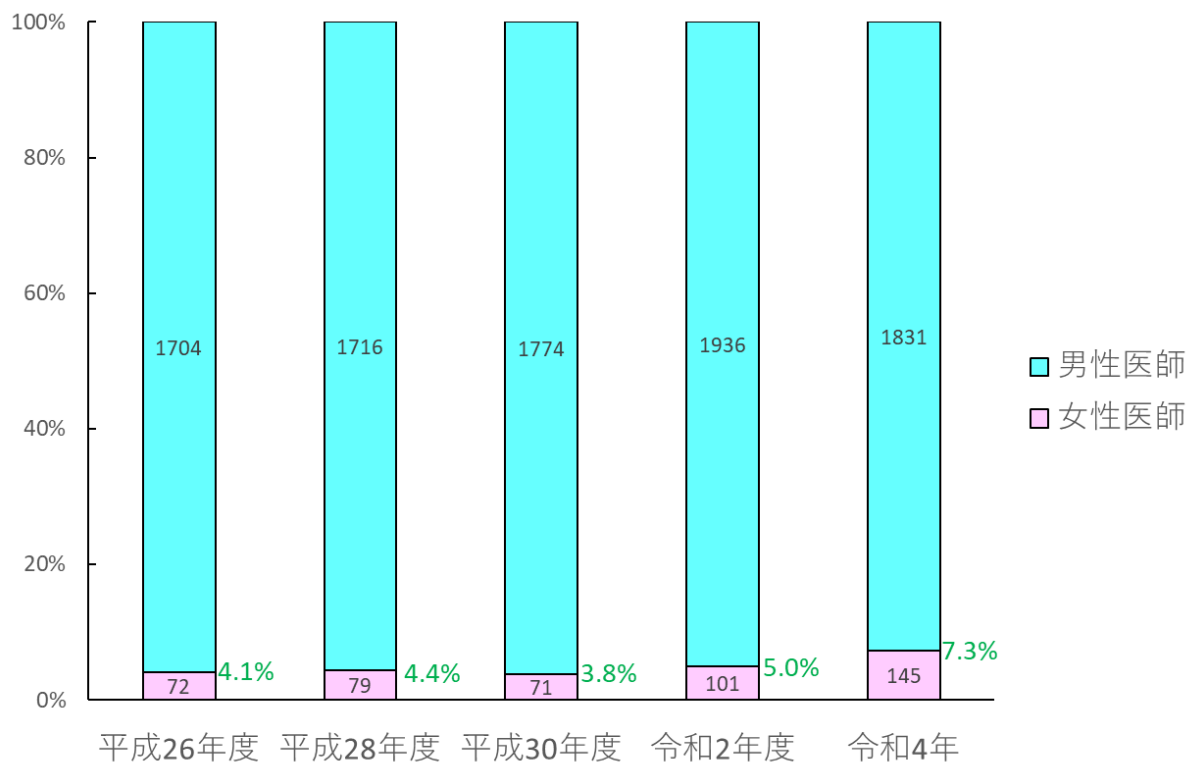


2. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と関連する学会における役員数と女性比率

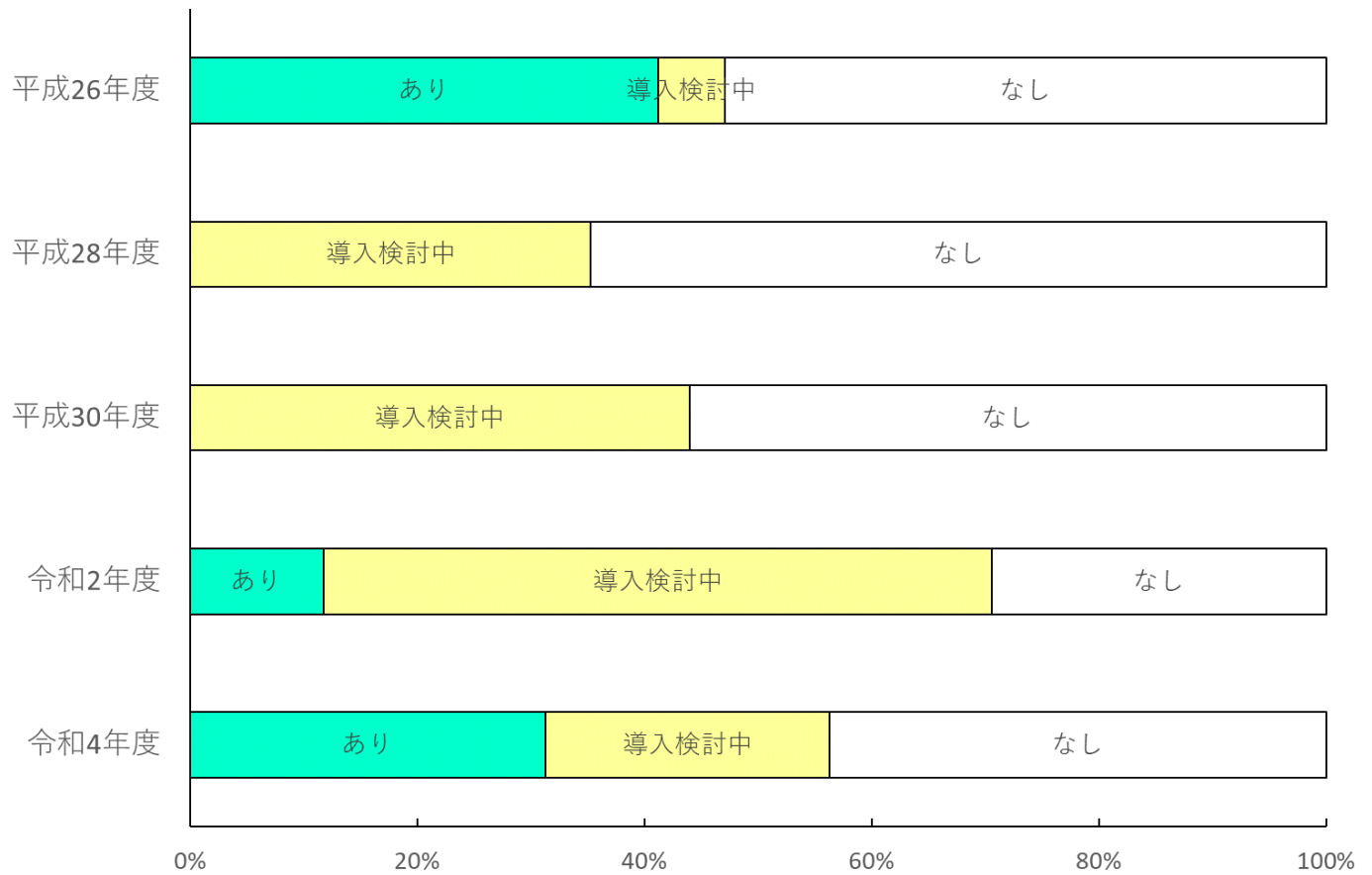
学会名	平成26年度			平成28年度			平成30年度			令和2年度			令和4年度		
	役員 医師数	女性数	女性比 (%)	役員 医師数	女性数	女性比 (%)	役員 医師数	女性数	女性比 (%)	役員 医師数	女性数	女性比 (%)	役員 医師数	女性数	女性比 (%)
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 ¹⁾	288	10	3.5	293	11	3.8	296	10	3.4	315	15	4.8	318	19	6.0
日本聴覚医学会	47	6	12.8	49	6	12.2	59	8	13.6	58	9	15.5	57	9	15.8
日本めまい平衡医学会	77	5	6.5	68	6	8.8	72	6	8.3	87	7	8.0	89	11	12.4
日本耳科学会	84	6	7.1	84	6	7.1	84	6	7.1	93	7	7.5	91	10	11.0
日本鼻科学会	74	2	2.7	77	2	2.6	79	2	2.5	91	3	3.3	75	3	4.0
日本気管食道科学会	183	3	1.6	133	7	5.3	177	7	4.0	172	5	2.9	211	9	4.3
日本頭頸部癌学会	142	0	0.0	126	0	0.0	184	1	0.5	158	2	1.3	151	9	6.0
日本音声言語医学会	51	2	3.9	57	3	5.3	57	3	5.3	68	4	5.9	67	4	6.0
日本顔面神経学会	62	0	0.0	78	2	2.6	77	1	1.3	84	1	1.2	90	1	1.1
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 ²⁾	132	8	6.1	139	7	5.0	124	7	5.6	133	8	6.0	130	10	7.7
日本小児耳鼻咽喉科科学会	63	15	23.8	91	17	18.7	85	16	18.8	95	19	20.0	105	20	19.0
耳鼻咽喉科臨床学会	65	1	1.5	84	1	1.2	81	1	1.2	97	0	0.0	111	1	0.9
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	79	2	2.5	81	2	2.5	90	0	0.0	107	4	3.7			
日本口腔・咽頭科学会	95	3	3.2	94	1	1.1	83	1	1.2	105	2	1.9	110	9	8.2
日本喉頭科学会	105	4	3.8	100	3	3.0	108	3	2.8	102	3	2.9	126	3	2.4
日本頭頸部外科学会	109	2	1.8	104	1	1.0	108	2	1.9	115	5	4.3	130	15	11.5
日本嚥下医学会	120	3	2.5	137	4	2.9	140	5	3.6	157	7	4.5	115	12	10.4
合計	1776	72	4.1	1795	79	4.4	1845	71	3.8	2037	101	5.0	1976	145	7.3

1) 令和2年まで日本耳鼻咽喉科科学会、令和3年から日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

2) 令和1年まで日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会、令和2年から日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会



3. 役員選出に関する、クォータ制（割当制）等の女性医師登用へのポジティブアクションの有無

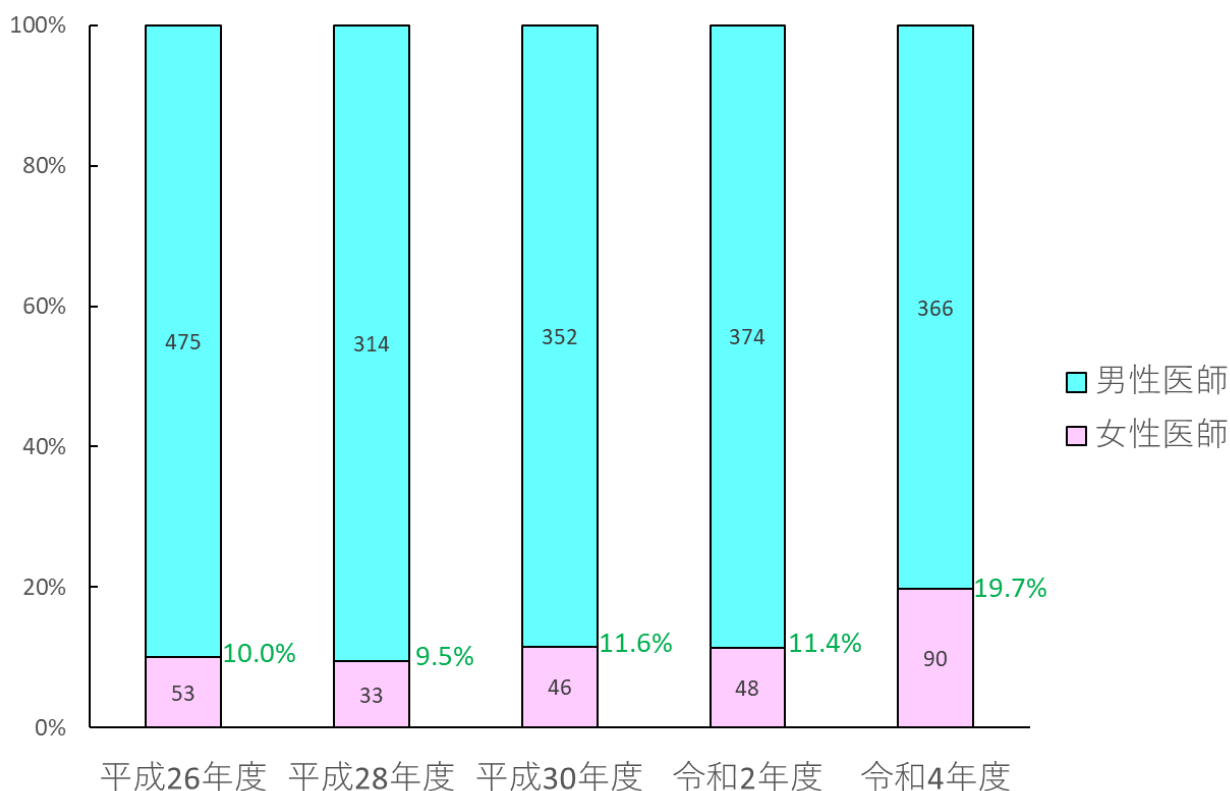


4. 学会総会・学術集会における女性登用の推移～指定演者

学会	平成26年度			平成28年度			平成30年度			令和2年度			令和4年度		
	指定演者数	女性数	女性比(%)	指定演者数	女性数	女性比(%)	指定演者数	女性数	女性比(%)	指定演者数	女性数	女性比(%)	指定演者数	女性数	女性比(%)
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 ¹⁾	29	3	10.3	12	2	16.7	33	6	18.2	59	7	11.9	58	12	20.7
日本聴覚医学会	3	0	0.0	8	3	37.5	11	5	45.5	4	1	25.0	5	3	60.0
日本めまい平衡医学会	29	2	6.9	40	3	7.5	8	1	12.5	22	3	13.6	19	3	15.8
日本耳科学会	44	2	4.5	52	1	1.9	26	1	3.8	57	6	10.5	17	0	0.0
日本鼻科学会	36	5	13.9	43	5	11.6	22	2	9.1	73	10	13.7	46	12	26.1
日本気管食道科学会	114	7	6.1	29	2	6.9	111	8	7.2				54	12	22.2
日本頭頸部癌学会	58	3	5.2	35	3	8.6	39	2	5.1	47	1	2.1	61	11	18.0
日本音声言語医学会	23	10	43.5	10	1	10.0	8	0	0.0	15	2	13.3	5	2	40.0
日本顔面神経学会	15	4	26.7	23	3	13.0	32	3	9.4	22	1	4.5	48	2	4.2
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 ²⁾	17	1	5.9	3	0	0.0	9	2	22.2				7	2	28.6
日本小児耳鼻咽喉科学会	12	1	8.3	8	0	0.0	11	3	27.3	16	5	31.3	12	4	33.3
耳鼻咽喉科臨床学会	17	1	5.9	10	0	0.0	15	5	33.3	22	3	13.6	9	1	11.1
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	11	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	20	0	0.0			
日本口腔・咽頭科学会	47	6	12.8	33	1	3.0	27	0	0.0	31	5	16.1	51	15	29.4
日本喉頭科学会	19	2	10.5	17	4	23.5	20	4	20.0	11	4	36.4	12	1	8.3
日本頭頸部外科学会	35	1	2.9	16	5	31.3	8	0	0.0	23	0	0.0	27	2	7.4
日本嚥下医学会	19	5	26.3	8	0	0.0	18	4	22.2	0	0	0.0	25	8	32.0
合計	528	53	10.0	347	33	9.5	398	46	11.6	422	48	11.4	456	90	19.7

1) 令和2年まで日本耳鼻咽喉科学会、令和3年から日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

2) 令和1年まで日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会、令和2年から日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会

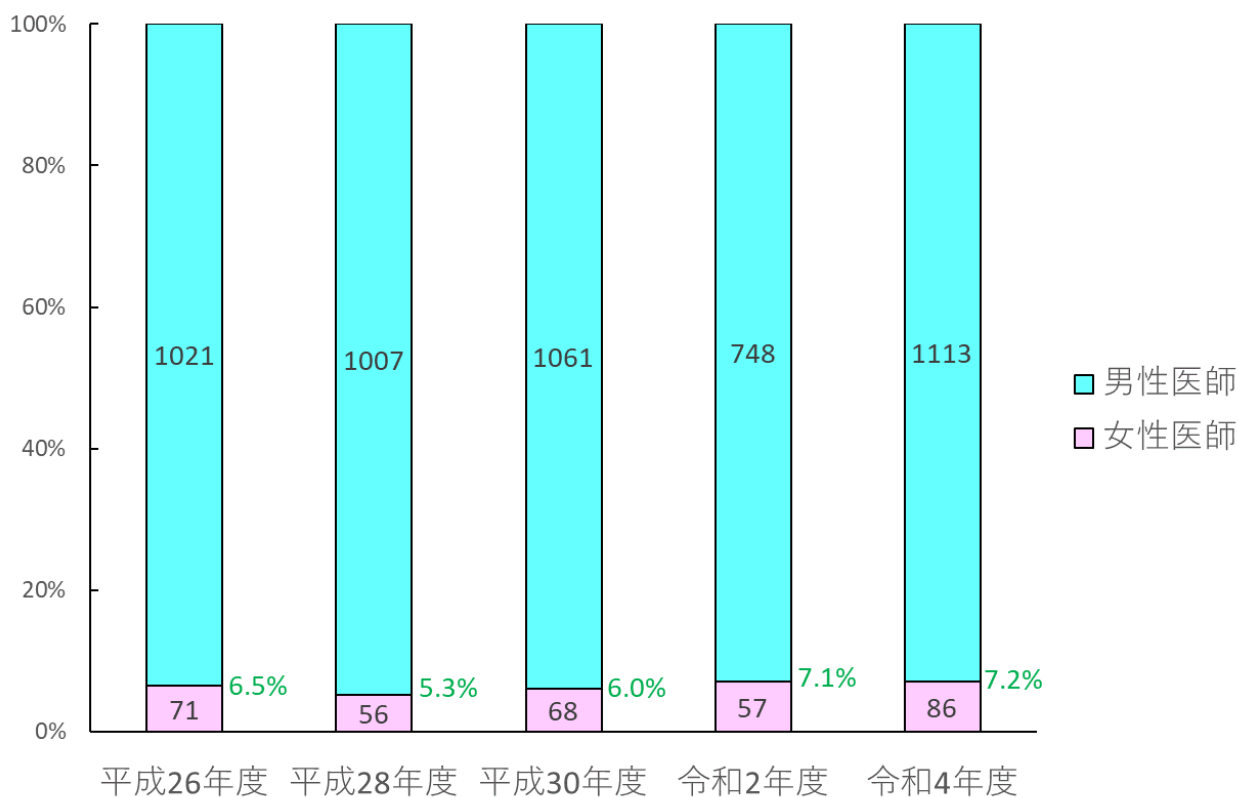


5. 学術総会・学術集会における女性登用の推移～座長

学会	平成26年度			平成28年度			平成30年度			令和2年度			令和4年度		
	総数	女性	女性比 (%)	総数	女性	女性比 (%)	総数	女性	女性比 (%)	総数	女性	女性比 (%)	総数	女性	女性比 (%)
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 ¹⁾	153	7	4.6	154	7	4.5	130	4	3.1	132	7	5.3	134	10	7.5
日本聴覚医学会	43	5	11.6	39	7	17.9	45	8	17.8	39	9	23.1	51	9	17.6
日本めまい平衡医学会	37	2	5.4	49	6	12.2	54	4	7.4	56	7	12.5	20	4	20.0
日本耳科学会	120	6	5.0	64	2	3.1	119	13	10.9	103	12	11.7	150	10	6.7
日本鼻科学会	51	3	5.9	107	5	4.7	58	1	1.7	77	2	2.6	172	10	5.8
日本気管食道科学会	70	4	5.7	51	3	5.9	95	3	3.2				90	4	4.4
日本頭頸部癌学会	70	1	1.4	53	0	0.0	72	0	0.0	19	0	0.0	35	1	2.9
日本音言語医学会	82	22	26.8	13	0	0.0	47	11	23.4	17	0	0.0	22	0	0.0
日本顔面神経学会	26	0	0.0	37	1	2.7	35	0	0.0	16	0	0.0	40	1	2.5
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 ²⁾	16	2	12.5	32	5	15.6	35	1	2.9				80	7	8.8
日本小児耳鼻咽喉科学会	35	7	20.0	49	9	18.4	36	6	16.7	23	5	21.7	66	9	13.6
耳鼻咽喉科臨床学会	97	1	1.0	118	2	1.7	96	4	4.2	93	4	4.3	83	3	3.6
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	45	1	2.2	32	1	3.1	42	2	4.8	4	0	0.0			
日本口腔・咽頭科学会	40	2	5.0	67	2	3.0	60	4	6.7	39	2	5.1	54	4	7.4
日本喉頭科学会	69	1	1.4	47	1	2.1	66	5	7.6	28	1	3.6	50	3	6.0
日本頭頸部外科学会	112	4	3.6	112	2	1.8	98	1	1.0	152	5	3.3	132	10	7.6
日本嚥下医学会	26	3	11.5	39	3	7.7	41	1	2.4	7	3	42.9	20	1	5.0
合計	1092	71	6.5	1063	56	5.3	1129	68	6.0	805	57	7.1	1199	86	7.2

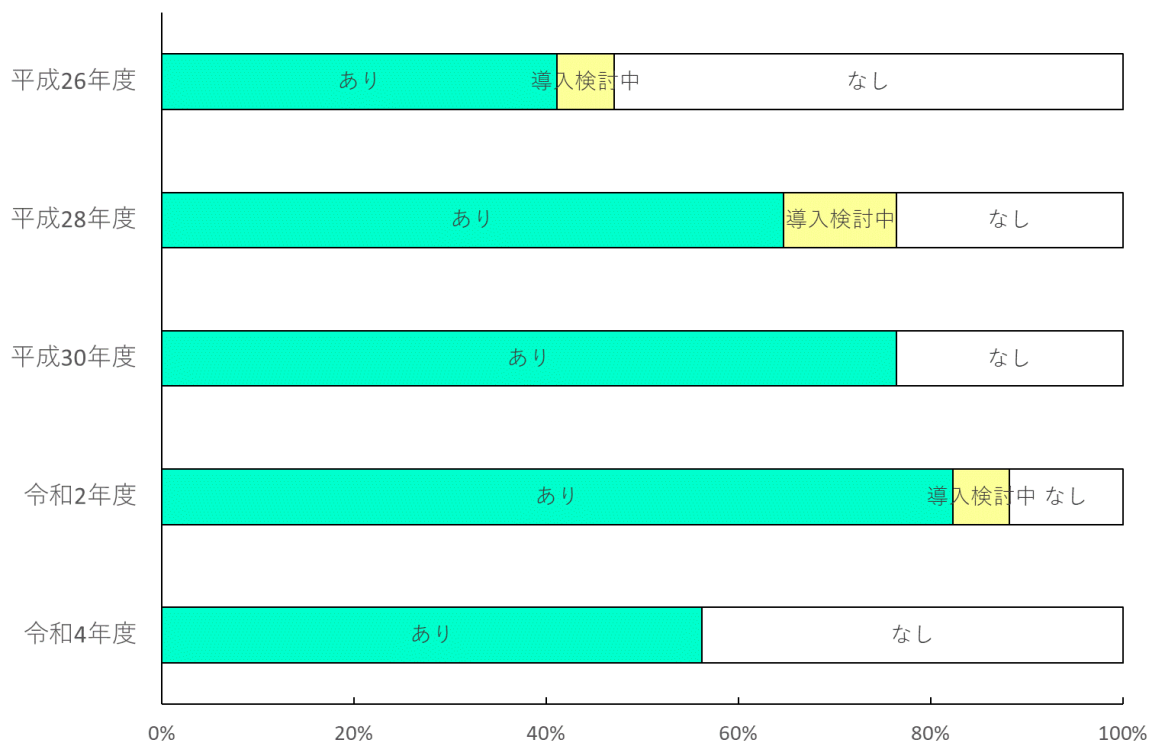
1) 令和2年まで日本耳鼻咽喉科学会、令和3年から日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

2) 令和1年まで日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会、令和2年から日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会

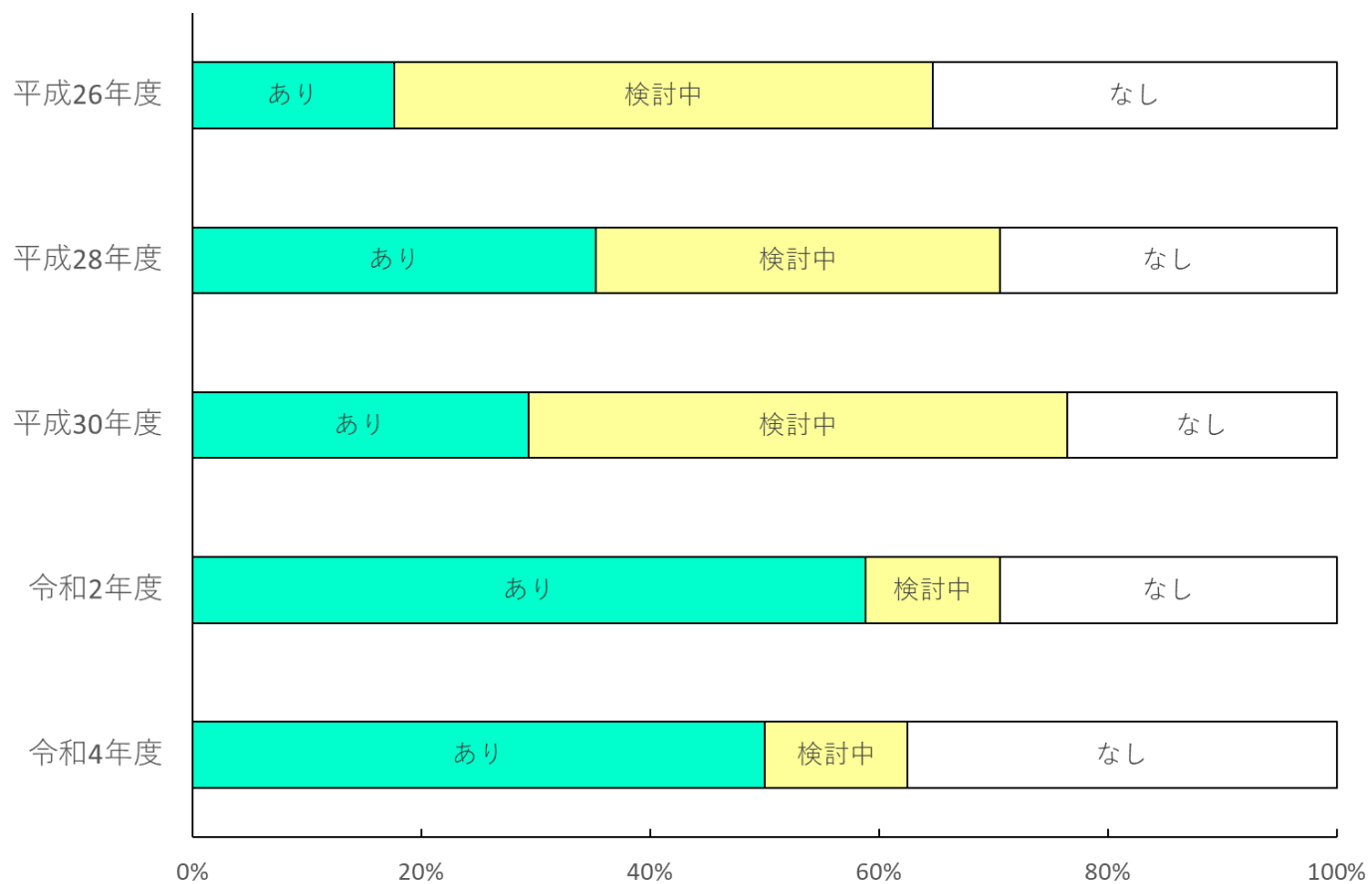


6. 学会総会・学術集会における託児所設置の有無

学会	平成26年度			平成28年度			平成30年度			令和2年度			令和4年度		
	あり	導入 検討中	なし	あり	導入 検討中	なし	あり	導入 検討中	なし	あり	導入 検討中	なし	あり	導入 検討中	なし
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 ¹⁾	○			○			○			○			○		
日本聴覚医学会	○			○			○			○			○		
日本めまい平衡医学会	○			○			○			○			○		
日本耳科学会	○			○			○			○			○		
日本鼻科学会			○	○			○			○			○		
日本気管食道科学会			○	○			○			○					○
日本頭頸部癌学会			○			○			○	○					○
日本音声言語医学会	○			○			○			○					○
日本顔面神経学会			○			○			○			○			○
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 ²⁾			○	○			○				○				○
日本小児耳鼻咽喉科科学会	○			○			○			○			○		
耳鼻咽喉科臨床学会	○			○			○			○			○		
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会			○	○			○			○					
日本口腔・咽頭科学会			○			○			○			○			○
日本喉頭科学会			○		○		○			○			○		
日本頭頸部外科学会			○			○			○	○			○		
日本嚥下医学会		○			○		○			○					○
合計	7	1	9	11	2	4	13	0	4	14	1	2	9	0	7

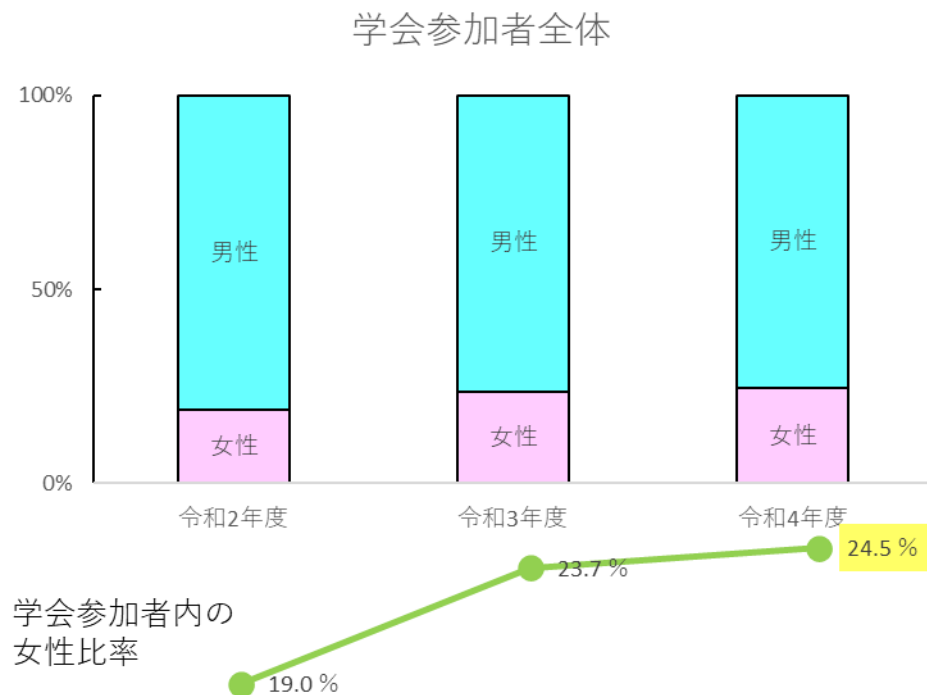


7. 女性医師支援や男女共同参画推進に関する内部組織やアクションプラン

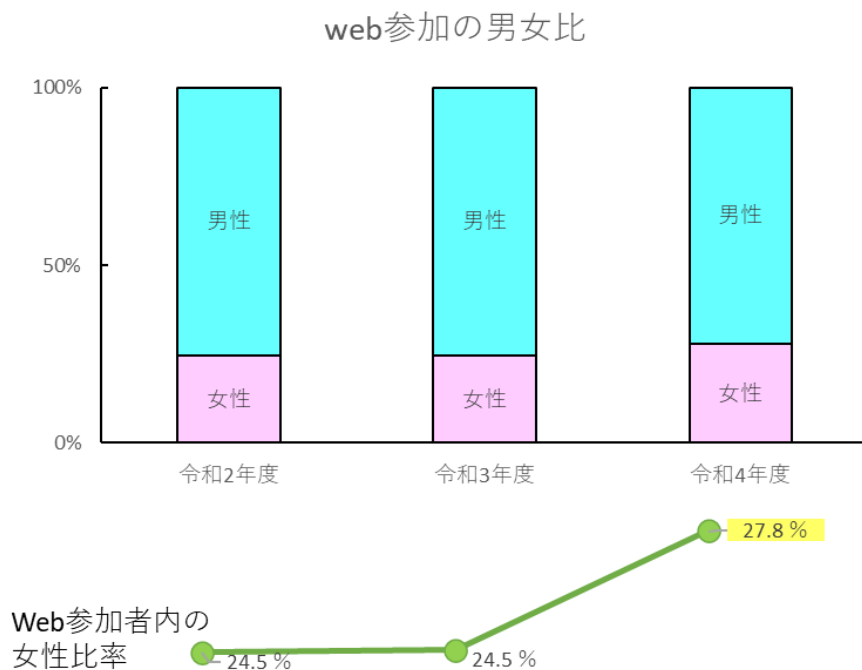


8. 学会の Web 開催併用について

●学会参加男女比（全体）



●Web での参加者男女比



III.依頼文とアンケート内容

令和4年11月17日

日耳鼻・関連する学会
理事長 殿

一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
理事長 村上 信五
男女共同参画委員会
担当理事 小林 一女
委員長 森田 由香

「男女共同参画」に関するアンケート調査へのご協力をお願い

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）が平成27年8月28日に国会で成立しました。これにより、働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために、女性の活躍推進に向けた数値目標を盛り込んだ行動計画の策定・公表や、女性の職業選択に資する情報の公表が事業主（国や地方公共団体、民間企業等）に義務付けられています。

さらに、平成27年日本政府は「一億総活躍社会」を目標に掲げ、同年12月に閣議決定された第4次男女共同参画基本計画では、「研究機関、大学、企業等における女性研究者・技術者の採用促進等、科学技術・学術分野における政策・方針決定過程への女性の参画拡大」「女性医師の仕事と生活の両立や、離職・休職した女性医師の復職を通じた、医療機関、学術団体、職能団体等の関係団体における政策・方針決定過程への女性の参画拡大」を具体的な取り組みとして掲げています。また、平成29年より「働き方改革実行計画」が推進され、その目的として「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面している我が国において、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることを示しています。

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会男女共同参画委員会では、平成26、28、30、令和2年度に関連する学会に男女共同参画に関するアンケートを依頼し、各学会への役員選出に対するポジティブアクションの導入や学会総会・学術集会の指定演者・座長への女性登用比率などを調査いたしました。その結果、多くの学会では、女性会員比率に比較して女性医師の指導的地位への参画は未だ十分ではないという状況が判明しています。日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会の10年間の新入会員に占める女性医師の割合は30%前後で推移しており、男女共同参画は耳鼻咽喉科医療水準の維持のために、耳鼻咽喉科医全体として取り組むべき課題であると考えます。

そこで2年の月日を経て、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会の関連する学会に前回同様の「男女共同参画」に関するアンケートへのご協力をお願いし、各学会における「男女共同参画」の進捗状況を調査することになりました。本調査結果は、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会で口頭発表し、男女共同参画委員会HPで公開するほか、本委員会でのアクションプラン作成の参考とさせていただきます。

下記 google フォームよりアンケートをご回答ください。回答の締切は、令和4年12月23日（金）とさせていただきます。ご多忙の折、誠に申し訳ございませんが、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

<回答用 google フォーム>

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeFw5NLE_Nyz3M1zrQuUGl4FEIMSB00JbZb_GEPERHoRemG8w/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0



連絡先：日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会事務局
男女共同参画委員会 事務担当 浅野妙子
〒108-0074 東京都港区高輪 3-25-22
TEL: 03-3443-3085 FAX: 03-3443-3037
Email: fukushi@jibika.or.jp

「男女共同参画」に関するアンケート

R4

※数字は半角でご入力ください。

*必須

1. 貴学会名 *

2. 1. 貴学会員の学会員数をお答えください。 *

3. 学会員のうち、医師数をお答えください。 *

4. 学会員のうち、女性医師数をお答えください。 *

5. 2. 貴学会の理事長の性別をお答えください。 *

1つだけマークしてください。

男性

女性

6. 貴学会の副理事長の人数をお答えください。 *

7. 副理事長のうち、女性の人数をお答えください。*

8. 副理事長のうち、医師数をお答えください。*

9. 副理事長のうち、女性医師数をお答えください。*

10. 貴学会の理事の人数をお答えください。*

11. 理事のうち、女性の人数をお答えください。*

12. 理事のうち、医師数をお答えください。*

13. 理事のうち、女性医師数をお答えください。*

14. 貴学会の評議員（代議員）の人数をお答えください。*

15. 評議員（代議員）のうち、女性の人数をお答えください。*

16. 評議員（代議員）のうち、医師数をお答えください。*

17. 評議員（代議員）のうち、女性医師数をお答えください。*

18. 3. 貴学会の役員、評議員（代議員）選出に関して、クォーター制（割当制）等、女性医師登用へのポジティブアクションはありますか。*

1つだけマークしてください。

- 有り
 導入予定または検討中
 無し

19. 「有り」とお答えいただいた場合、内容をお答えください。（例：女性理事 枠〇名など）

20. 「無し」とお答えいただいた場合、理由を教えてください。

21. 4. 本年度の貴学会総会・学術講演会におけるシンポジストの医師人数をお答えください。 *

22. シンポジストのうち、女性医師数をお答えください。 *

23. 本年度の貴学会総会・学術講演会におけるパネリストの医師人数をお答えください。 *

24. パネリストのうち、女性医師数をお答えください。 *

25. 本年度の貴学会総会・学術講演会における座長の医師人数をお答えください。 *

26. 座長のうち、女性医師数をお答えください。 *

27. 5. 学会総会・学術講演会等に託児所を設置したことはありますか。 *

1つだけマークしてください。

- 有り
 設置予定または検討中
 無し

28. 6. 貴学会内に女性医師支援や男女共同参画推進に関する内部組織やアクションプランはありますか。*

1つだけマークしてください。

- 有り
 検討中
 無し

29. 「有り」とお答えいただいた場合、内容をお答えください。（例：男女共同参画委員会の設置、学術集会における女性医師支援、男女共同参画パネルの設置、など）

30. 7. コロナ禍で、総会・学術講演会のWeb開催を併用しましたか。*

1つだけマークしてください。

- Web開催有り
 Web開催無し

31. 「有り」とお答えいただいた場合、参加の医師総数をお答えください。（令和4年度）

32. 参加の医師総数のうち、可能であれば女性医師数をお答えください。（令和4年度）

33。 参加の医師のうち、現地参加の人数をお答えください。（令和4年度）

34。 現地参加のうち、可能であれば女性医師数をお答えください。（令和4年度）

35。 Web参加のみの医師数をお答えください。（令和4年度）

36。 Web参加のみのうち、可能であれば女性医師数をお答えください。（令和4年度）

37。 参加の医師総数をお答えください。（令和3年度）

38。 参加の医師総数のうち、可能であれば女性医師数をお答えください。（令和3年度）

39。 参加の医師のうち、現地参加の人数をお答えください。（令和3年度）

40。 現地参加のうち、可能であれば女性医師数をお答えください。（令和3年度）

41. Web参加のみの医師数をお答えください。（令和3年度）

42. Web参加のみのうち、可能であれば女性医師数をお答えください。（令和3年度）

43. ご協力ありがとうございました。以上でアンケートは終了です。日耳鼻男女共同参画委員会へのご意見やご要望等がございましたらご入力をお願い申し上げます。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム